

様式 4

令和 4 年度 第 2 回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立倉吉西高等学校

校長 山口 宏志

評 価 日	令和 5 年 2 月 2 4 日 (金)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1 重点目標の達成状況について ・ 社会人講師活用事業等を生かした外部との連携が行われているが、評価 A を 1 年で目指せるように考えていってはどうか。		・ ステージによって取組に差が生まれていたことを考え、3 年間の流れが生まれる計画を作成していく。
2 目標達成のための取組結果について ・ 日本女性会議における全校生徒の参加について謝意。日本女性会議のレガシーとして、継続イベントを秋に行う予定があり、高校生の活躍の場面での、倉吉西高校からの参加も依頼。		・ 本校生徒にとって、外部との交流や発表の場は貴重な機会となっており、今後も継続して発表の場を提供していきたい。
3 具体目標の達成状況について ・ 特になし。		
4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ・ 対人力は高校生時代までに身につけないと、社会に出てから苦勞する。チャレンジグループ活動でも身につくような取組を考えてもらいたい。		・ 日本女性会議や高校生議会、校外でのシンポジウムなど、アウトプットできる機会を増やしたい。また、自粛していたフィールドワークも積極的に企画して、地域の方々との関わる場の創出に努めたい。
・ 図書館活用について、電子書籍と紙のベストミックスを検討してはどうか。		・ 今年度は青山学院大学から講師を招いて、これからの時代の図書館活用のあり方について研修したところ。委員指摘の点についても検討していきたい。
・ 地域課題と教科の関連性などを追究することが必要。単に「地域探究」とするだけでなく、生徒が自分の勉強との繋がりを感じられる取組にすることが大切なのではないか。		・ 大学との交流や地域のでフィールドワークは貴重な場であると同時に、委員指摘のとおり教科の学習との関連性を生徒に伝える必要はあると認識しており、「線」にした取組を心がけたい。

5 その他 ・特になし。	
-----------------	--